

★具体的な内容★

- 月2回、水曜日（受付 12:45~14:00 活動 13:00~15:30）
- 主任児童委員2人（民児協エプロン・名札 着用）
- リーフレット等を渡す。
- 子育ての様子を聞く。
- その日の様子をノートに記録し、保健師につなげる。
- 話したい人とは、イスにすわり赤ちゃんの様子を見ながら話をする。
 - ① ママ友達がほしい
 - ② 赤ちゃんの兄姉の話
 - ③ 家族間の話（親子・夫婦・ステップファミリー・おじいちゃん・おばあちゃん）
 - ④ 生活上の話 など
- 気になることは、保健師や栄養士に伝える。

2. 活動のきっかけ・経緯

平成16年7月に、主任児童委員から市の保健師に、健診後の保護者（特にお母さん達）に声かけをさせてもらえないかと申し出て、平成16年9月から実施



まず、今の保護者はどのような子育てをしているかを知りたいと思った。子育て中の親子とふれあう機会をつくろう、それもさりげなく、出来るだけ多くの親子に接したい。子育てのはじめは、ストレスを受けやすいと同時に人とのふれあい・関わりを求めている時でもある。人の話も聞き入れやすいと思われる4か月児健診時が適切だと考え、「くつろぎひろば」と名づけて実施に至った。

3. 事実施にあたって工夫した点、苦労した点、立ち上げ時のポイント等

- カウンセラーによる研修「初対面の人との接し方」
 - ・ 初対面の人に不信感を抱かせたり、余分なストレスをかけないために、どう言葉かけすればいいか、声かけのタイミングなど。
 - ・ 最初は周辺のことや共通の話題から・・・「いいお天気ですね」「雨で大変でしたね」「暑かったですでしょう」など。
 - ・ ねぎらいのことばをかける。
 - ・ つながる言葉かけで見送る。・・・「一人でがんばりすぎないで」「誰かに相談してね」など。